言語学サブプログラム

専門科目(言語学)

| 科目番号 | 科目名 | 授業 方法 | 単位数 | 標準 履修 年次 | 実施学期 | 曜時限 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|----------|------|----------------|------|-----|--|--|----------------------------------|
| OBBAGXO | リサーチラボ演習(1A) | 2 | 2. 0 | 1 | 春AB | 応談 | 本修,金仁和,臼 | 言語学サブプログラムにおいて博士論文を作成する1年次生が 複数の教員から成る指導グループの指導のもと、教員の研究と も連動、協同しながら、言語研究における研究倫理、言語研究 の諸側面に関する理解を深めるとともに、自身の修士論文等の 研究側類等を洗い出し、先行研究を検討することによって、 博士論文に向けての展望を行う。 | オンライン(対面併用型) 担導教員の指示に従ってください。 |
| OBBAGX1 | リサーチラボ演習(1B) | 2 | 2. 0 | 1 | 秋AB | 応談 | 佐俊本山晴田夫大澤暻村今祐大明修利宮尚小恭田田崇田輔, 潤和田一須一田黄海谷田創東田一第一田東北宮町野康浩川斗水宮町、大橋口雅和昭住尊賢山優中大橋口雅和昭住尊賢山優中 | 言語学サブプログラムにおいて博士論文を作成する1年次生が 複数の教員から成る指導グループの指導のもと、教員の研究と も連動、協同しながら、展望に基づき博士論文の大まかな構成 を定め、今後の論文執筆の計画を立て、データの収集、分析を 行う。 | オンライン(対面併用型) 指導教員の指示に従ってください。 |
| OBBAGX2 | リサーチラボ演習(2A) | 2 | 2. 0 | 2 | 春AB | 応談 | 佐俊本山晴田夫大澤暻拓今祐本山晴田夫大澤暻拓今祐、潤和田一須一田黄田崇田創川水宮川水宮川水宮川水宮川東田一須一田黄田崇田創川、潤和田一須一田黄田崇田創大橋口雅和昭住尊賢川斗中矢橋四雅和昭住尊賢川斗中 | 言語学サブプログラムにおいて博士論文を作成する2年次生が 複数の教員から成る指導グループの指導のもと、教員の研究と も連動、協同しながら、論文執筆計画に基づき、博士論文の中 核となる部分の執筆を行う。 | オンライン(対面併用型) 指導教員の指示に従ってください。 |
| OBBAGX3 | リサーチラボ演習(2B) | 2 | 2. 0 | 2 | 秋AB | 応談 | 佐俊本山晴田夫大澤暻拓今祐本明,修利宮尚小恭田金海田輔,本池金,信腰明野康浩谷山水宮勲田一鎮一田黄田崇田創,潤和田一須一田黄田崇田創大橋,雅和昭住尊賢川,中大橋日雅和昭住尊賢川,中 | 言語学サブプログラムにおいて博士論文を作成する2年次生が 複数の教員から成る指導グループの指導のもと、教員の研究と も連動、協同しながら、博士論文の中核となる部分の問題点を 洗い出すとともに、博士論文全体の構成を決定する。 | オンライン(対面併用型) 担導教員の指示に従ってください。 |
| OBBAGX4 | リサーチラボ演習(3A) | 2 | 2. 0 | 3 | 春AB | 応談 | 佐俊本山晴田夫大澤優村今祐本山晴田夫大澤優村今祐 大池。信腰明野康浩川斗水宮勲田 一須一田 金海賢田創 一個 東京 一個 一個 東京 一個 一個 中國 中國 一個 中國 | 言語学サブプログラムにおいて博士論文を作成する3年次生が 複数の教員から成る指導グループの指導のもと、教員の研究と も連動、協同しながら、博士論文の中核となる部分を補完する 部分の執筆を行い、予備論文を作成する。 | オンライン(対面併用型) 指導教員の指示に従ってください。 |

| OBBAGX5 | リサーチラボ演習(3B) | 2 | 2. 0 | 3 | 秋AB | 応談 | 佐俊本山晴田夫大澤優村今祐地地。 信腰明野康浩川斗水宮縣門 作為 信腰明野康浩川斗水宮縣田 一崇田輔,不宮山,本田一八潭,一十八潭,一十八潭,一十八潭,一十八潭,一十八潭,一十八潭,一十八潭,一 | 言語学サブプログラムにおいて博士論文を作成する3年次生が 複数の教員から成る指導グループの指導のもと、教員の研究と も連動、協同しながら、予備論文の問題点、課題を洗い出し、 本論文の作成する。 | オンライン(対面併用型) 指導教員の指示に従ってください。 |
|---------|---------------|---|------|---|-----|----|--|---|----------------------------------|
| OBBAGYO | リサーチラボ実習 (1A) | 3 | 1. 0 | 1 | 春AB | 応談 | 佐俊本山晴田夫大澤暻拓今祐、池金信腰明野康浩谷山水宮 点音腰明野康浩谷山水宮 八潤和田一須一田黄 田東田 東田 和昭 和昭 和昭 中國 東田 和昭 中國 | 言語学サブプログラムにおいて博士論文を作成する1年次生を対象に、複数の教員から成る指導グループから、学会発表(またはそれに準じるもの)のテーマ設定、構成に関する指導を受け、プレゼンテーションの方法を実際に学ぶ。 | オンライン(対面併用型) 指導教員の指示に従ってください。 |
| OBBAGY1 | リサーチラボ実習 (1B) | 3 | 1.0 | 1 | 秋AB | 応談 | 佐俊本山晴田夫大澤暻拓今祐、潤和明。 信腰明野康浩谷山水宮則。 信腰明野康浩谷山水宮則,水太田、海田、河山田,須一田黄田崇田創田,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, | 言語学サブプログラムにおいて博士論文を作成する1年次生を対象に、学会発表(またはそれに準じるもの)を行い、それに基づき、複数の教員から成る指導グループからフォローアップを受ける。 | オンライン(対面併用型) 指導教員の指示に従ってください。 |
| OBBAGY2 | リサーチラボ実習(2A) | 3 | 1. 0 | 2 | 春AB | 応談 | 佐俊本山晴田夫大澤暻拓今祐村、潤和田一、須一田黄田、海田、海田、海田、海田、海田、湖田、河田、河田、河田、河田、河田、河田、河田、河田、河田、河田、河田、河田、河田 | 言語学サブプログラムにおいて博士論文を作成する2年次生を対象に、複数の教員から成る指導グループから、学会発表(またはそれに準じるもの)のテーマ設定、構成に関する指導を受け、プレゼンテーションの方法を実際に学ぶ。 | オンライン(対面併用型) 担導教員の指示に従ってください。 |
| OBBAGY3 | リサーチラボ実習(28) | 3 | 1.0 | 2 | 秋AB | 応談 | 佐俊本山晴田夫大黄子拓今祐本明修利宮尚小恭賢金海田輔, 本治。信腰明野康暻谷山水宫熟田 (島幸那雄石澤優村穂川) 九潤和田一須一田田田崇田創大橋口雅和昭住尊浩川斗中失橋口雅和昭住尊浩川斗中 | 言語学サブプログラムにおいて博士論文を作成する2年次生を対象に、学会発表(またはそれに準じるもの)を行い、それに基づき、複数の教員から成る指導グループからフォローアップを受ける。 | オンライン(対面併用型) 指導教員の指示に従ってください。 |

| OBBAGY4 | リサーチラボ実習(3A) | 3 | 1. 0 | 3 | 春AB | 応談 | 佐俊本山晴田夫大澤優村今祐本地。信腰明野康浩川斗、宮川、八潤和田一須一田金海賢田創、八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八 | 言語学サブプログラムにおいて博士論文を作成する3年次生を対象に、複数の教員から成る指導グルーブから、学会発表(またはそれに準じるもの)のテーマ設定、構成に関する指導を受け、プレゼンテーションの方法を実際に学ぶ。 | オンライン(対面併用型) 指導教員の指示に従ってください。 |
|---------|--------------|---|------|---|-----|----|---|---|----------------------------------|
| OBBAGY5 | リサーチラボ実習(38) | 3 | 1.0 | 3 | 秋AB | 応談 | 佐俊本山晴田夫大澤優村今祐本地。信腰明野康浩川斗、東川 仁島幸那雄石子、拓黄、川山、瀬田田、東田川、東田田、東田田、東田田、東田田、東田、東田、東田、東田、東田、東田、東田、東田 | 言語学サブプログラムにおいて博士論文を作成する3年次生を対象に、学会発表(またはそれに準じるもの)を行い、それに基づき、複数の教員から成る指導グループからフォローアップを受ける。 | オンライン(対面併用型) 指導教員の指示に従ってください。 |